

Interface

MIYUKI HOSPITAL MAGAZINE

インターフェイスとは「つなぐ部分」のこと。この広報紙を皆様とのつながりのきっかけにしていきたいと考えています

御幸病院広報誌
【インターフェイス】



2009.
Spring

Vol.6



●特集

相談を通じて心を開き、
患者様・ご家族様を“連携”でサポート

- みゆきの里研究発表大会&創立記念式典 開催
- 統合医療 ●地域のドクターからのメッセージ
- 和楽ってこんなところ! ●今後の行事予定
- ニュースリリース ●担当医表



ごあいさつ



医療法人 博光会 理事長
富島 三貴
Miki Tomishima

御幸病院広報誌「インターフェイス」第6号をお届けいたします。

今回の特集は、御幸病院の「医療連携室」です。“患者様・ご家族様への相談支援”と“他医療機関や施設そして地域の方々との連携”を核として業務を行います。入院のご相談への対応、患者様やご家族様が抱えていらっしゃる問題解決への支援、退院に向けた連絡・調整など、様々な場面で相談員(医療ソーシャルワーカー)が専門職として携わっています。また、御幸病院の病床を患者様へ効果的に提供できるように、“連携力”を活かして病院全体の病床管理にも深く関わってまいります。

御幸病院では21年4月より、介護療養型病床であった北3病棟を、医療療養型病床に転換いたしました。さらに夏頃を目処に、回復期リハビリテーション病棟へ転換し、2病棟にする予定となっております。今後ますます急性期病院からのご紹介に対する調整や、患者様の在宅復帰に向けた支援が必要となり、「医療連携室」の重要性が増してまいります。御幸病院「医療連携室」の取り組みをご紹介させていただきます。

みゆきの里グループ

- ◆ケアハウス ピオニーガーデン ◆ウェルネススクエア 和楽 ◆介護老人保健施設 ぼたん園
- ◆軽費老人ホーム 富貴苑 ◆特別養護老人ホーム みゆき園 ◆小規模多機能ハウス ほがらか ◆レストラン ピオサルデー

相談を通じて心を開き、 患者様・ご家族様を“連携”でサポート



医療連携室全スタッフ

すぐにお答えできる体制づくりで 患者様の不安を解消

おひとりずつ異なる症状や家庭環境、それぞれにご心配やご不安などを抱えながらも治療を受けていらっしゃる患者様がた。ご本人様やご家族様に安心して毎日を送って頂けるようにと、御幸病院では医療や介護に関わる様々な相談を受ける「医療連携室」を設置しています。4名の相談員（医療ソーシャルワーカー）とともに、病床管理師長を兼任する長木副看護部長も在室。「看護師と一緒に相談を受けることで、患者様やご家族様のご相談だけではなく、急性期医療機関からの転院相談

などにもスムーズに対応できます。相談へのお答えをできる限りお待たせしないことが、患者様へのやさしさにつながると考えています」と林田室長は語ります。186床ある病床をリアルタイムで把握し、入院相談への迅速な対応・適した病棟選択への支援・計画的な退院支援等を行っています。患者様に御幸病院の病床を有効に活用して頂けるよう、病院全体の病床管理にも関わって、患者様への支援に役立っています。

患者様を心身両面で支える 御幸病院の3つの連携

「患者様にとって一番大事なのは、できる限りストレスが少ない環境の中で、その方が必要とされる治療を適切に受けられ、そして退院に辿り着いて頂くことです。また、ご自宅に戻られた後も、地域の中で医療や介護の支援を必要となることが多々あります。私たち相談員（医療ソーシャルワーカー）は、担当医師はもちろん、看護師・療法士・ケアマネージャーなど多くの専門職と情報を共有し、チームで患者様を支えています。」と林田室長。「相談をお受けするにあたり3つの連携を大切にしています。まずはチーム医療に不可欠な院内における連携。次に様々な医療と保健、福祉の施設を備えたみゆきの里内における連携。そして、他の医療機関や近隣住民の方々との地域連携。」とネットワークを活かして、その患者様により良い選択をご提案しています。

御幸病院では、患者様とご家族様が安心して治療に専

M i y u k i n o s a t o



患者様ご家族のご相談をお受けします



リハビリスタッフと一緒に退院前の患者様宅を訪問



医師・病棟師長と共に病床管理のミーティング

念して頂けるよう、入院患者様に担当相談員(医療ソーシャルワーカー)を配置し、医療・介護保険の制度に関するご相談や、医療費のお支払いなどの経済的な問題に対しても、解決へ結びつけられるよう情報提供を行っています。

安心して治療を続けるために 人の和を大切に問題解決

障害があっても尊厳を持って生活できるよう、リハビリテーション医療に積極的に取り組む御幸病院。そんな患者様の自立を共に目指したいと、回復期のリハビリ目的の入院相談については、「できる限りお受けする。迅速にお受けする。」という吉田院長の意思を受け、基本的には相談があったすべての入院を速やかに受け入れることができるように努めています。今年度には回復期リハビリテーション病棟も増床予定です。

「相談員(医療ソーシャルワーカー)の仕事は、患者様とご家族様が主体となり、自立に向けて力をつけていけることへのお手伝い。患者様やご家族様から教えて頂くことも数多くあります。日頃から、迅速かつ適切な対応ができるように、各方面のプロから常に学び、情報を集約しています。同時に相談を受ける私たちのチームの和も大切にしています。やはり皆で協力し、患者様にご満足いただけた時は嬉しさもひとしおですね。」と“連携”で患者様を支える喜びを実感しながら、今日も相談員(医療ソーシャルワーカー)たちは笑顔で相談をお受けしています。

御幸病院 医療連携室からのご挨拶

御幸病院の「医療介護相談室」は、4月1日より「医療連携室」に変わりました。地域の医療機関や施設、また地域の方々と連携を図る上で“連携の窓口”であることを広く知って頂くための変更です。当院では、他の医療機関からのご相談に対して迅速に対応し、かつ細やかな情報提供や適時の経過報告を行うことで情報共有に努めています。また、近隣の医療機関との“連携”を深めるために、アンケート調査によりご意見を伺ったり、地域で開院なさる医療機関の情報を頂いたり様々な方法を模索しています。さらに、地域の医療機関や施設等に訪問させて頂くこともあり、連携担当者として“顔の見える連携”に心がけています。

また、私たち相談員(医療ソーシャルワーカー)は御幸校区を中心とした近隣の地域にも出かけていきます。老人会の例会に各部署のスタッフと一緒に伺い「みゆきの里健康講座」を開催させて頂いたり、院内の地域ケア推進委員会の活動のひとつ「御幸病院健康教室」の企画運営などにも関わったりと、地域の皆様と交流を図っています。御幸病院が地域の方々の健康増進と疾病予防のために少しでもお役に立つことができ、みゆきの里が“健康生活のベストパートナー”となるように努力しています。

御幸病院の「医療連携室」は、今後も医師・看護師・各職種のスタッフ、そして、みゆきの里の各施設と一丸となって、地域との“連携”に邁進して参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

統合医療 —みゆきの里の取り組み—



御幸病院顧問
老人保健施設ぼたん園施設長
江頭 洋祐

「第2回:漢方の祖～神農のこと～」

漢方医学の古典として有名な“神農本草経”の神農とは伝説上の医薬の帝王で、農耕や商業の神ともいわれています。神農は病を治す薬草を探して山野を駆けめぐり赤い鞭を使って草木を採取し、自分で実際になめてその効用や毒性を試したそうです。そのため一日に何度も中毒して死にそうになったとも伝えられています。その話は昔からの人々の経験を神農という神格化された人物の業績として伝説化されたものでしょう。

中国では薬学のことを本草学ともいい、現在のように化学合成薬のなかった時代には、山野にある薬草や鉱物などの薬効が多くの症例で検討されて薬方として使用されるようになったのです。

神農本草経では365種の植物、鉱物、動物が薬効別に上品(ほん)、中品、下品の3ランクに分けられています。上品は養命薬、中品は養性薬(体力をつける)、下品は対症治療薬を意味しています。

漢方は経験医学ともいわれますが、神農をはじめ先人の天才的感覚と経験が集積された医学といえることができます。

御幸病院では漢方治療にも熱心に取り組んでおり、患者様ごとの証、つまり漢方的に診た体質体況に基づいて保険薬である漢方エキス剤を用いて漢方治療を行っています。かぜなどの急性病、不定愁訴、さらには慢性病の治療に現代医学とはひと味違った有用性を認めることがありますのでご相談下さい。

みゆきの里研究発表大会&創立記念式典 開催

3月1日 みゆきの里 創立記念式典



みゆきの里職員が日頃の研究成果を発表

2月26日、ウェルネスクエア一和楽3階ホールにて、「みゆきの里研究発表大会」が開催されました。これはみゆきの里の職員が、日頃の業務に関する取り組みやその成果を研究・発表するもので、今年で2回目となります。全施設から合計12の研究が寄せられ、その日の業務を終えた職員の皆さんの前で、次々と発表が行われました。

発表された研究は沢山のデータを集めたり、一人の患者さんを長期にわたって観察したりと、どれも力作揃いでした。発表された研究は各施設長をはじめとする審査員によって審査され、優秀作は3月2日のみゆきの里創立記念式典で発表されることとなりました。



第2回みゆきの里研究発表大会



永年勤続者と研究発表優秀作を表彰

3月2日、みゆきの里の27周年創立記念式典が、ぼたん園多目的ホールにて開催されました。当日は始業前の朝早くから、富島会長をはじめ職員一同がぼたん園に集合。富島会長の開会の挨拶の後、お忙しい中ご出席いただいた中原県議員より祝辞をいただきました。

その後、永年勤続者と2月26日の研究発表大会優秀作の表彰がおこなわれました。今回の永年勤続者は、10年・15年・20年・25年の各表彰をあわせて21名。ひきつづき研究発表の表彰が行われ、御幸病院南1病棟・福沢主任の「接遇研修がめざすもの～アンケート調査から見る職員の意識～」が最優秀作に、優秀作2作にはぼたん園・福田相談員の「通所リハビリテーション利用者増員への取り組み」と、御幸病院栄養課の「あなたのために～スープ食への取り組み～」が、それぞれ選ばれました。また特別賞として、ぼたん園・江頭施設長と御幸病院・王研究員及び岩重医師の発表「高齢者の便秘症への中医併証に基づく漢方治療」、及び岩重医師の「介護療養病棟における漢方医療導入の試み」がそれぞれ選ばれました。

続いて富島理事長より、みゆきの里の今後方針と課題について説明があり、各施設長からはそれぞれの施設の21年度の抱負が語られました。最後に御幸病院の吉田院長の首頭で、職員全員がお茶で乾杯し、記念式典は閉会となりました。

地域のドクターからの Message

メッセージ

地域に根ざした在宅療養支援の拠点、みゆきの里



ひまわり在宅クリニック
後藤 慶次先生

ひまわり在宅
クリニック

〒860-0833
熊本市平成3丁目18-20
TEL096-285-3251

この4月より、平成のサンリブくまなん、テオデオの横で在宅医療・緩和ケア専門のクリニックを開院いたしました。このようなときに御幸病院の広報誌(インターフェイス)への投稿のご依頼をいただき、感謝いたします。私が在宅医療や緩和ケアを志すようになった原点はみゆきの里です。平成元年から5年まで大学院に通っていた頃に御幸病院にお世話になり、麻酔科の専門医で右も左もわからない私が高齢者の医療や福祉のあり方について多くのことを学ばせていただきました。その後私は大学医局に戻りいくつかの病院で麻酔専門医として従事した後、在宅医療や緩和ケアの経験を経て今回の開業に至りました。その間みゆきの里は、目覚ましい発展を遂げ、地域になくはならない一大施設群となり、現在も進

化中でありま。会長、理事長はじめ職員の皆様方のたゆまぬ努力の賜物でありま。私的には時々ジョギングで近くを通ったり、和楽に子供と温泉にはいりに行ったり、公的には緩和ケア病棟に患者さんを受け入れていただいたり、研修でお招きいただいたりとその後もいろいろとお世話になっていました。

これからは近隣の地域で在宅医療、在宅緩和ケアを、みゆきの里の各施設やサービス機関と連携させていただきながら、地域に根ざした安心の医療・介護・福祉が提供できるように頑張っていきたいと思ひます。特に訪問看護ステーションや居宅介護支援事業所とは勉強会などを共同で開催できればありがたいです。よろしくお願ひします。

特集 和楽WARAKUって こんなところ! Vol.6

ウェルネス
スクエア



ウェルネススクエア和楽 特別企画 ＜健康・養生・運動学＞市民講座

ウェルネススクエア和楽では、昨年開催して好評をいただきました「市民講座」(参加費無料)を、数多くの皆様のご要望に応え、今年も開催させていただくこととなりました。是非ともこの機会を、皆様の健康増進にご活用ください。

- ④ 養生学 「免疫力を高める7つの知恵」
●4月25日(土)/10:30~11:30/定員100名
●講師/介護老人保健施設 ぼたん園施設長 江頭洋祐
- ⑤ 養生学 「手のツボ押し健康法(仮)」
●5月23日(土)/10:30~11:30/定員100名
●講師/御幸病院 名誉院長 長尾和治
- ⑥ 養生学 「気と気功(太極拳)」
●6月27日(土)/10:30~11:30/定員100名
●講師/御幸病院漢方研究室 主任研究員 王 曉東

- ※開催場所は、ウェルネススクエア和楽 3Fを予定致しております。
- ※聴講をご希望の方は、以下申込先にてその旨お伝え頂きます様よろしくお願い申し上げます。定員一杯の際にはご容赦願います。
- ※定員になり次第、受付を締め切らせて頂きます。尚、予告なく内容変更の場合もございます。何卒ご了承ください。

申込先 健康増進・老人福祉センター、特定保健指導施設
温泉利用プログラム型健康増進施設
ウェルネススクエア和楽
熊本市御幸苗田西宮前1202 TEL096-370-2244

和楽特別企画市民講座 1月24日開催

1月24日、ウェルネススクエア和楽にて「特別企画市民講座」が開催されました。6カ月連続講演第1回の講師は、御幸病院の吉田健院長。「知って得する病院の機能」と題して行われたこの講座では、知っているようで意外と知られていない病院の機能や、「こういった掲示やスペースにはどんな意味があるのか」など、病院を利用する上で役立つ話を、御幸病院を例に挙げ解説してもらいました。

今回お集まりになった皆さんも、普段から御幸病院をご利用の方が多かったようです。馴染みのある院長の講演とあって、講演後の質疑応答でもたくさん質問が会場から上がり、大変な盛況でした。



市民講座第2回 2月28日開催

2月28日、和楽特別企画市民講座の第2回講演が開催されました。今回の講師は、みゆきの里でもお馴染みの菊池養生園名誉園長・竹熊宜孝先生です。

「無病短命」と題した今回の講演では、病気と上手につきあって長生きする秘訣について、いつもの通りユーモアたっぷりの語り口でお話していただきました。聴講にいらっしやっていた皆さんも、竹熊先生の講演を何度か聴きにいられた方も多かったようで、講演終了後は積極的に質問されたり、先生に話しかけられる方も多くいらっしやいました。



「Cucina Vegitale Seminario」～野菜の台所セミナー～ 開催

好評をいただいております、ウェルネススクエア和楽の料理講座が「BIO SALUTE」にも出張。今回は「玄米」を中心に、プロの技をお教えます。玄米試食にマクロビオティックスイーツ、オーガニックドリンクがついて、受講料は1,000円。ぜひ皆様、お誘い合わせの上お申し込みください。

- ◆日時:4月26日(日) 16:30~18:00 ◆場所:熊本市安政町5-15マリアビル1F「BIO SALUTE」
- ◆当日ご持参いただくもの:筆記用具 ◆お申し込み・お問い合わせ:096-284-3715

イタリアンレストラン「BIO SALUTE」

熊本市安政町5-15 マリアビル1F・2F TEL・FAX/096-284-3715 ホームページ/http://www.biosalute.jp Mail/info@biosalute.jp



各事業についてのお問い合わせなどは、和楽総合受付(096)370-2244まで、お気軽にお尋ねください。

■ 今後の行事予定 Event schedule

- 4月1日 入社式
- 6月頃(予定) 健康と食のまつり



■ 担当医表 Charge medicine table

	月	火	水	木	金	土
午前	津出 長尾	吉田 江頭	金沢	川野 長尾	吉田	担当医
午後	岩重	牛島 長尾	高野	牛島 長尾	津出 江頭	

・王研究員の漢方相談…毎週月・水・金の午前・午後
毎週木の午後 第2・第4火・土の午前

長尾名誉院長	外科(鍼灸漢方)・健康相談を担当します。
吉田院長	
津出診療部長	
川野内科医長	
牛島医師	内科を中心として、種々の診療を担当します。
本田医師	
高野医師	
岩重医師	
金沢医師	
磯貝ホスピス医長	緩和ケア病棟を担当します。
鈴木医師	
江頭医師	呼吸器・アレルギー疾患・心療内科を担当します。

- リハビリテーションの担当医:川野、吉田、津出、金沢
- 緩和ケア病棟への入院相談 月～土 8:30～17:30(随時)
相談窓口:医療連携室

■ ニュースリリース News release

病院機能評価の認定を受けました

御幸病院は昨年11月、日本医療機能評価機構の病院機能評価(ver.5.0)の訪問審査を受けました。審査の結果、21年1月19日付けで無事認定を受けることができました。平成15年12月の初回認定に続き、最初の認定更新となります。財団法人日本医療機能評価機構のホームページ

http://www.report.jcqh.or.jp/cgi-bin/ninteilist_latest.cgi?page_id=hp023Nでもご確認いただけます。



北3病棟が、介護療養型病床から医療療養型病床へと転換します。

平成21年2月1日、御幸病院では病床数の変更(南3病棟:40→42、北2病棟:45→51、北3病棟:51→43)を行いました。さらに平成21年4月1日には、北3病棟は介護療養型から医療療養型へと転換いたします。

これにより、御幸病院の療養型病床は医療保険利用のみとなり、介護療養型病床はなくなることとなりました。今回の病棟転換は、平成23年に介護療養型病床を廃止するという、厚生労働省の方針を見据えたものです。

北3病棟は、平成21年7月頃を目処に、さらに回復期リハビリテーション病棟へ転換となる予定です。病棟転換についてのご質問等は、医療連携室もしくは医事課までお尋ねください。
(代表)096-378-1166



みゆきリハ新聞発行中

御幸病院リハビリ室では、平成20年6月より職員の手による新聞、「みゆきリハ新聞」を発行しております。関節痛など身近な症状への対処法や、自宅でできる簡単な認知症予防体操など、暮らしに役立つ情報が盛りだくさんです。現在第3号まで発行されており、みゆきの里のホームページ http://www.miyukinosato.or.jp/miyuki_b/rihanews.html でバックナンバーをご覧になれます。是非ご一読ください。



私たちは、地域の人々、利用者をご家族の幸せを願い、保健・医療・福祉の総合力を発揮して、健康生活のベストパートナーとなることを目指します。



医療法人博光会

御幸病院

【診療科目】

内科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・心療内科・神経内科・漢方内科・アレルギー疾患内科・小児科・リハビリテーション科・歯科・麻酔科(ペインクリニック) [医師:岡崎止雄]

【診療受付時間】

平日 午前8時30分～午後5時

土曜 午前8時30分～午前12時

※但し急患は何時でも受け付けます。



- 緩和ケア病棟:20床
- 一般病棟:30床
- 回復期リハビリテーション病棟:42床
- 医療療養型病床:94床
- 併設:訪問看護ステーション「みゆきの里」

発行/医療法人博光会 御幸病院
〒861-4172 熊本市御幸苗6-7-40
TEL.096-378-1166 FAX.096-378-1762
メールアドレス:info@miyukinosato.or.jp
編集/株式会社 談

詳しくはホームページをご覧ください <http://www.miyukinosato.or.jp/>